

JR四国を利用して伊予大洲城に向かった。ここは米子藩2代藩主加藤貞泰公が大洲藩に国替えとなり、幕末まで続いた藩である。

天守閣は2004年に木造で新築され、4層4階20近い四国で最も高い堂々たるものである。急勾配の階段を昇りつめ

ると、シンボル脇川がちよつど真下を、肘を曲げたように流れている。

中江藤樹先生ゆかりの

### 伊予大洲城



大洲高校では中江の池、寓居跡を見学した。史跡を高校が管理しているという。

さらに、2014年L EDでノーベル物理学賞を受賞された中村修二氏の石碑もあった。

400年を経ても学問をなした人や城を大切にしている気風が感じられ

た。

米子にも通じるものがある。今月23日から電子顕微鏡の世界的権威、菅田・田中両先生の新たな資料を含め、みんなが撮った電顕写真展が米子市児童文化センターと同市立図書館で開催されるといふ。出かけてみたい。

(とかみん)